

一般社団法人山口県医師会平成27年度第8回理事会

平成27年7月23日（木） 午後5時35分～午後7時39分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・加藤・藤本常任理事、
武藤・沖中・香田・中村・清水・原・船津理事、山本・武内・藤野監事

協議事項

1 平成28年度代議員会等の日程について

来年度は、本会及び郡市医師会において役員等の改選期である。本会の選挙代議員会開催日が郡市医師会の運営にも大きな影響を与えることから、代議員会開催時期等の方針について協議を行った。

2 平成27年度学校保健及び学校安全表彰（文部科学大臣表彰 学校保健の部）への被表彰候補者の推薦について

文部科学省では、学校保健の普及と向上に尽力し、優秀な成果をあげた関係者等に標記表彰を行っている。山口県教育庁学校安全・体育課長より被表彰候補者の推薦依頼があり、候補者1名について協議、推薦することが決定した。

3 第59回社会保険指導者講習会について

10月1（木）・2日（金）、日本医師会において開催される標記講習会の受講者について協議し、5名を推薦することが決定した。

報告事項

1 医療安全対策委員会（7月9日）

本年10月の医療事故調査制度施行にあたり、各都道府県医師会が支援団体として厚生労働省へ申請（日医から一括申請）を行ったことに伴い、山口県内における医療事故調査体制の早期構築に向け協議を行った。（中村）

2 第34回介護保険対策委員会（7月9日）

療養病床転換及び地域医療介護総合確保基金等についての協議を行った。（河村）

3 乳幼児保健委員会（7月9日）

乳幼児健康診査の体制及び乳幼児の任意予防接種の助成状況、乳幼児のメディア接触、病児保育施設の設置状況等について協議を行った。（藤本）

4 日医第2回地域医療対策委員会（7月9日）

地域医療連携推進法人制度並びに病院等を対象としたヘルスケアリートのガイドライン、地域医療構想について協議を行った。（弘山）

5 第2回生涯教育委員会（7月11日）

第100回山口県医学会総会及び第140回生涯研修セミナーの企画等について協議を行った。（原）

6 山口県難病・小児慢性指定医研修会、山口県協力難病指定医研修会

（7月12日）

山口県では、現在、難病及び小児慢性特定疾病の患者に対する新たな医療費助成制度における指定医制度の導入に伴い、難病指定医の更新申請手続きを行っているが、学会の専門医資格を持たない医師の特例措置として、平成29年3月31日までに都道府県が行う研修会を履修することが義務づけられている。本会においては、山口県よりこれにかかわる事業を受託しており、研修会を開催した。受講者数は、難病・小児慢性指定医研修会198名、協力難病指定医研修会30名であった。（藤本）

7 勤務医部会理事会（7月12日）

平成26年度事業報告及び平成27年度実施事業である、市民公開講座、医療クラークの活動支援、勤務医ネットワークの構築、医学生への啓発事業等について協議を行った。（加藤）

8 日医地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会

（7月12日）

平成26年度診療報酬改定において新設された「地域包括診療加算」及び「地域包括診療料」の施設基準にある「慢性疾患の指導に係る適切な研修」の一部に当たる研修会として、「脂質異常症、糖尿病、高血圧症、認知症、禁煙指導、健康相談、在宅医療、服薬管理、介護保険」に関する研修が日医で行われ受講した。（河村）

また、本会においてテレビ会議システムによる研修会を同時開催し、61名が受講した。（萬）

9 第17回山口県立病院機構評価委員会（7月13日）

平成26年度における業務の実績に関する評価及び財務諸表等について審議を行い、概ね順調な運営である旨の評価が行われた。（小田）

10 医療事故調査制度に関する協議会（7月14日）

山口県内における医療事故調査体制の早期構築に向けて、山口大学へ解剖・Ai分野の協力要請を行い、併せて情報交換を行った。（中村）

11 精神科救急についての意見交換会 第7回会議（7月16日）

山口県より「県内の救急病院における自殺企図者への対応状況等実態調査」報告書の今後の活用等について説明があった。精神科疾患を持った患者及び認知症の患者に対する救急医療連携について意見交換を行い、次回検討内容等について協議を行った。（弘山）

12 第2回健康スポーツ医学委員会（7月16日）

今年度の研修会開催日及び講師候補者について検討を行った。（藤本）

13 医事案件調査専門委員会（7月16日）

病院1件、診療所2件の事案について審議を行った。（中村）

14 新規個別指導「山口市」（7月16日）

診療所10機関について実施され、立ち会った。（萬、清水）

15 都道府県医師会税制担当理事連絡協議会（7月16日）

「消費税率10%引き上げ時への対応」を議事として、(1)「国及び社会保障制度の財政の現状」（財務省主計局 宇波弘貴 担当官）、(2)「控除対象外消費税問題に関する日本医師会の取組み及び関連する税制の諸課題について」（日本医師会 今村定臣 常任理事）の説明及び質疑応答が行われた。（加藤）

16 警察署留置施設視察（7月16日）

周南警察署及び光警察署の留置施設の視察を行った。（香田）

17 第28回日本臨床整形外科学会学術集会（7月19日）

学会懇親会において、来賓として挨拶を行った。（小田）

18 都道府県災害医療コーディネーター研修（7月19・20日）

災害時に被災都道府県の災害対策本部の下に設置される組織において、医療救護活動等の助言・調整等を円滑に実施するため県災害医療コーディネーターが委嘱されており、そのコーディネーターを対象にした研修会が日本赤十字社本社にて開催され参加した。（弘山）

19 山口県医師会産業医研修会（7月20日）

第28回日本臨床整形外科学会学術集会において、本会主催の産業医研修会を行った。午前中は、特別講演1「ストレスチェック制度について」（山口労働局健康安全課長 田中俊明）、特別講演2「職場におけるアルコール問題とその対策」（医療法人信和会高嶺病院精神科医長 田中増郎）、特別講演3「職場における禁煙対策」

(帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授 福田吉治)を行った。午後は、実地研修「対応の難しいメンタルヘルス事例検討」として、神鋼長府診療所産業医の角谷 力、宇部興産(株)健康管理センター統括産業医の塩田直樹、同産業医の長田周也、三井化学岩国大竹工場健康管理室産業医の横田直行 各先生による講演を行い、受講者は、特別講演 1・2 : 89 名、特別講演 3 : 80 名、実地研修 : 46 名であった。(藤本)

20 日本医師会第 4 回理事会 (7 月 21 日)

社会保障審議会医療保険部会、台湾における爆発事故による重傷熱傷患者に対する医療支援活動への支援等の報告及び第 2 回都道府県医師会長協議会の開催、年金委員会委員の委嘱等について協議が行われた。(小田)

21 山口県医療審議会医療法人部会 (7 月 22 日)

医療法人の設立認可 4 件及び解散認可 2 件について審議が行われた。(小田)

22 世界スカウトジャンボリーにおける協力医療機関について (経過報告)

山口県教育庁の世界スカウトジャンボリー開催支援室より、会期内の協力要請医療機関について状況報告が行われた。

医師国保理事会 第 6 回

1 第 1 回山口県保険者協議会について (7 月 9 日)

6 月に開催された平成 27 年度第 1 回保健事業部会及び企画調査部会の報告があり、その後、平成 26 年度事業実績及び決算、平成 27 年度事業等について協議を行った。(濱本)

2 山口県国民健康保険団体連合会第 2 回理事会について (7 月 10 日)

7 月 24 日開催の通常総会に提出する、平成 26 年度事業報告及び決算等の議案について協議を行った。(小田)

3 全協第 1 回理事長・役員研修会について (7 月 16 日)

所得水準の高い国保組合に対する国庫補助の見直し及び医療保険者に必要なマイナンバー制度への対応等に関する講演が行われた。(小田)